



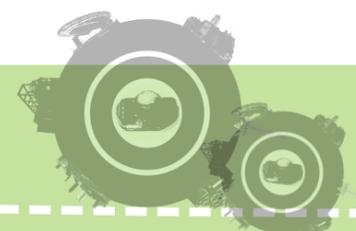
円昭 e 街プロジェクト



Location



物件名： アーバン佐々木36
所在地： 愛知県名古屋市 昭和区天神町3丁目6
構造・規模： RC造 6階建 5階部分
使用部分面積： 48.36 m²



ココカラボ

(インテリアデザイン・設計施工)

ここからワクワクが生まれる 研究室。

“ココカラ”と“lab(実験室)”という名詞の造語。

室長データ

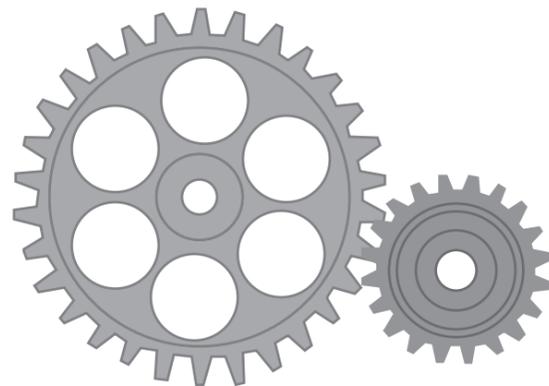
- ・フランス出生、茨城育ち。(age:28)
- ・京都より名古屋に来て3ヶ月。(15.10/31 Lab 開設。)
- ・服装 カジュアル (work系)、ジャケットも好き。
- ・仕事着、時折 suit。
- ・さんぽ、Camera が趣味。
- ・副室長 (豆柴♀) を雇うか検討中。。。



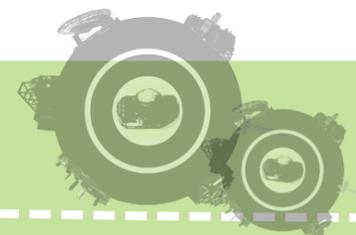
名古屋という日本の中央に位置した場所、東西の文化の中間点。
様々な文化がカミ合い、生まれる新しいモノたち。

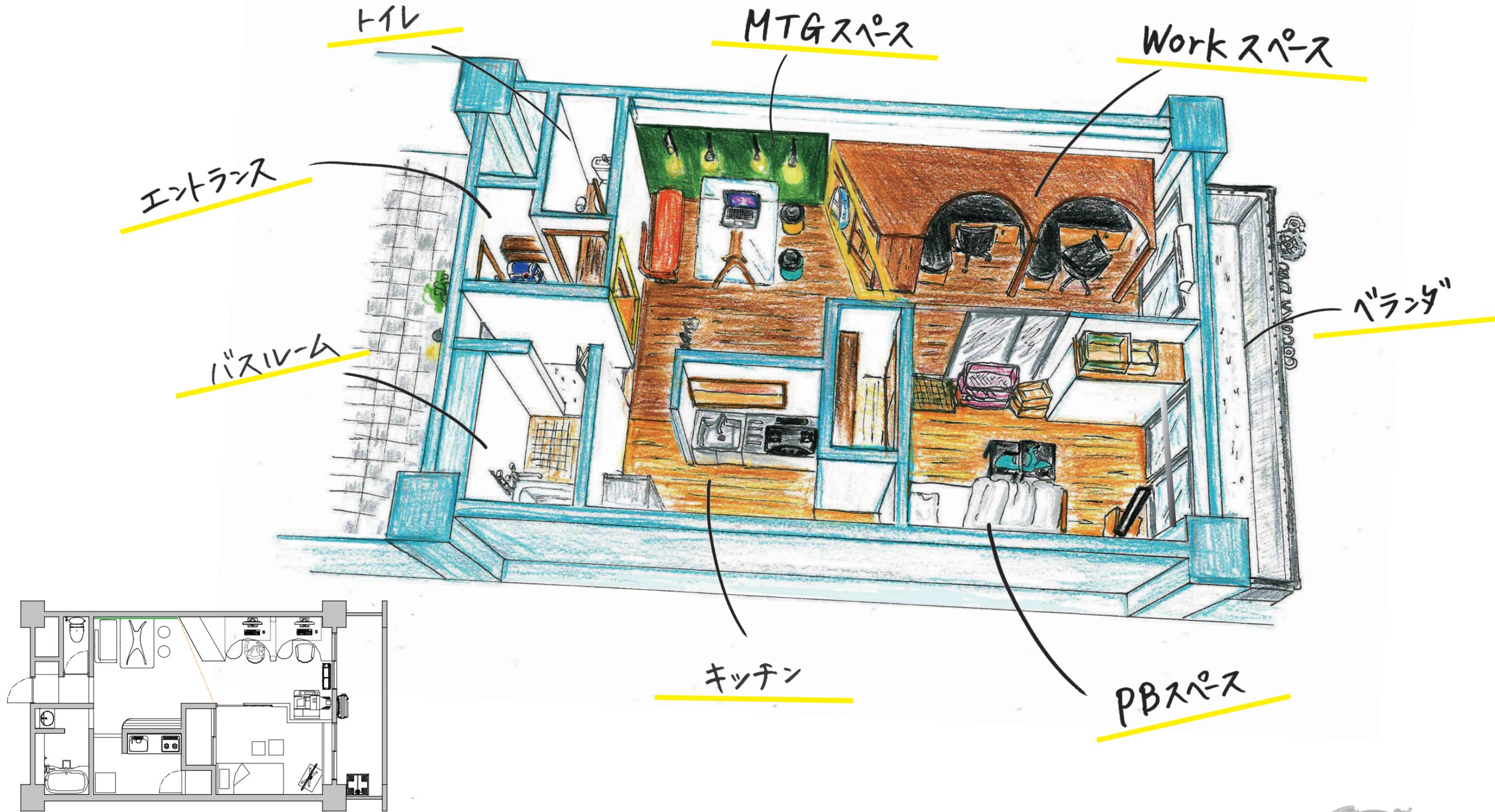
人とヒト。空間とクウカン。街とマチ。
それらがカミ合い回りだした時。ワクワクが動き出す。

そんなきっかけがここから造り出せるようにの思いを込めて、
歯車がモチーフになっています。



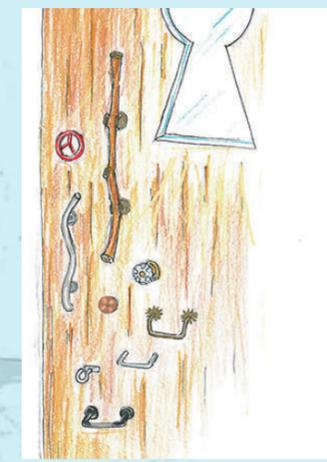
ロゴイメージ





Plan <entrance>

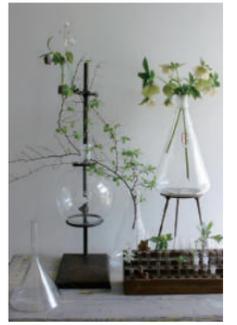
エントランス
(おもて)



三角フラスコを花瓶に。
eye catch!

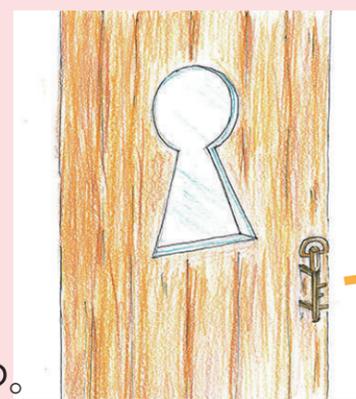
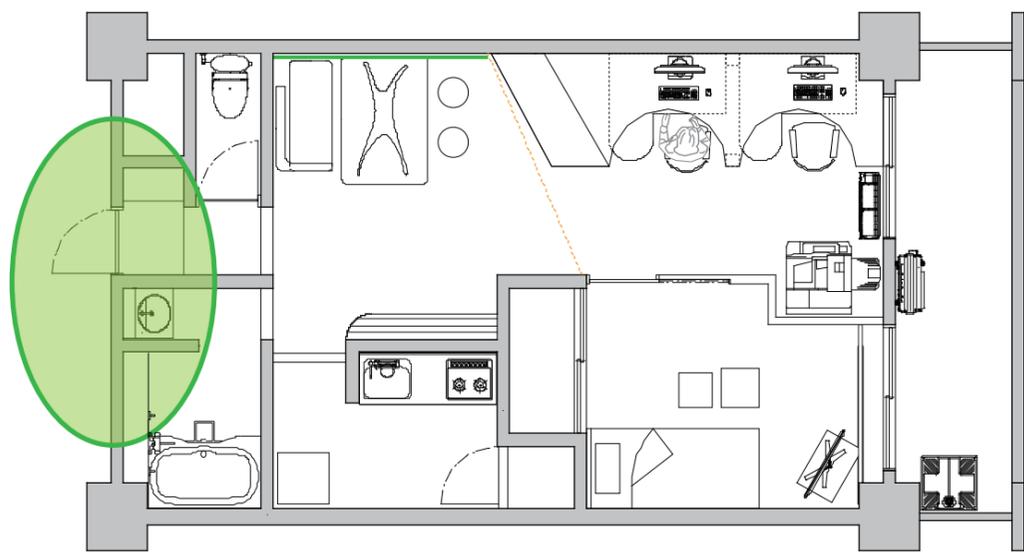
2S

SUS 口ゴsign



表は取っ手が沢山。

→ 色々な迷いや悩みながら訪れる人。
各々の好みの取っ手で自ら選び、扉を開けるイメージ。
鍵穴状の窓は、中を覗き込んで見て下さいの心の表れの覗き穴。

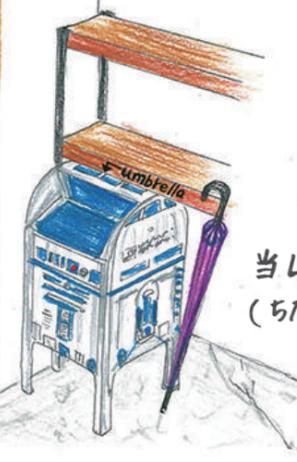


裏は鍵型の取っ手がひとつ。

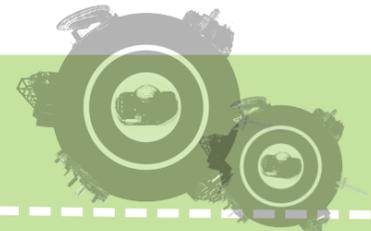
→ 帰りは何かのきっかけの鍵を掴んで帰ってもらいたいという気持ちから。
行きは覗き穴だったはずの鍵穴窓。
帰りはココカラ始まるワクワクの鍵穴に変身!



(うら)



当Labの門番
(ちほみに傘立て)



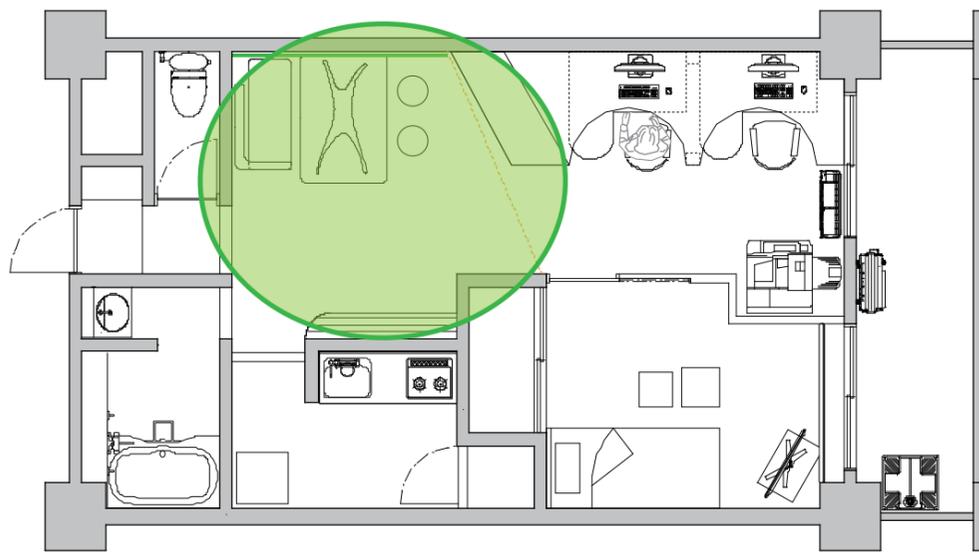
Plan < MTG space >



お客さまのお話を聞く場所。
=カンファレンスの場。

堅くならず話ができる印象の空間演出。

黒板塗装を施した壁でお客さまとイメージ共有。
→学生時代の頃のように、思いのままに頭の中にあるイメージを描く。



壁面照明イメージ



ドラム缶ツール

MTGスペース



Plan < work space >

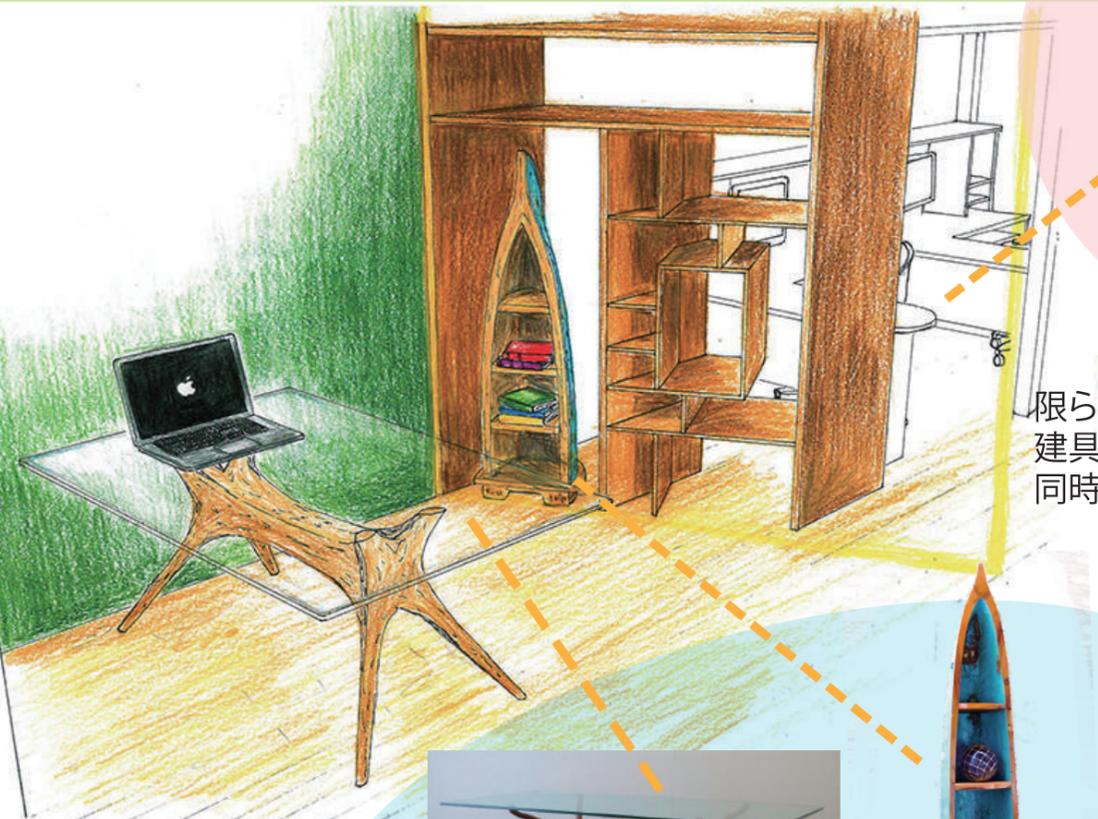


照明での空間 間仕切り

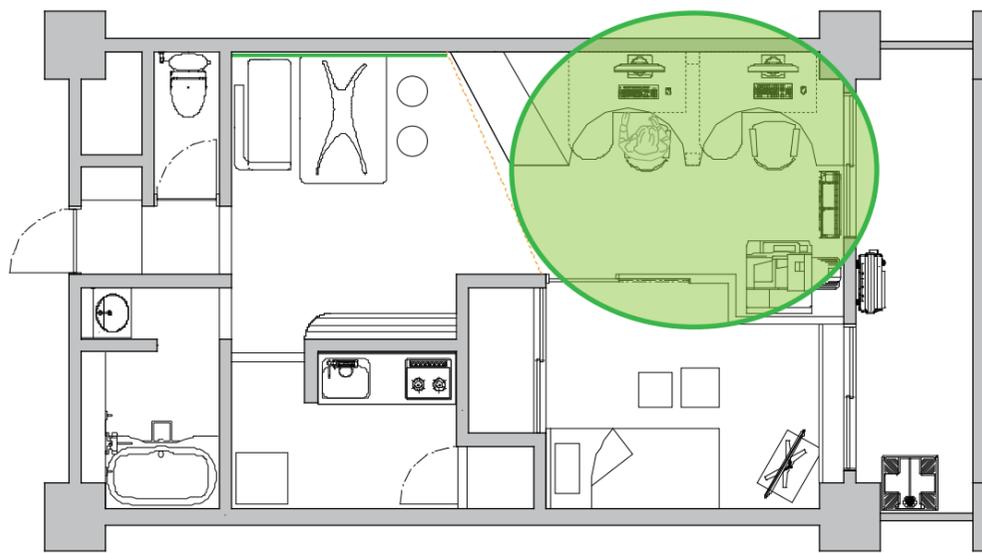
カタログ・サンプル収納



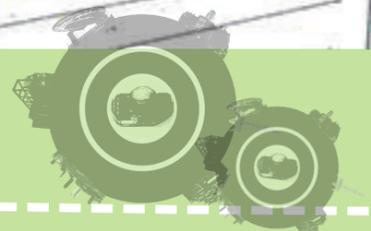
限られた空間の中なので、
建具ではなく、灯りと言うtoolを使っての空間 間仕切り。
同時に何かが生まれて来そうな実験室の様な演出が狙い。



使用家具



Workスペース



Plan < PB space >



鏡面建具イメージ



目盛の内1つが取っ手。
(ヘアライン仕上げ)



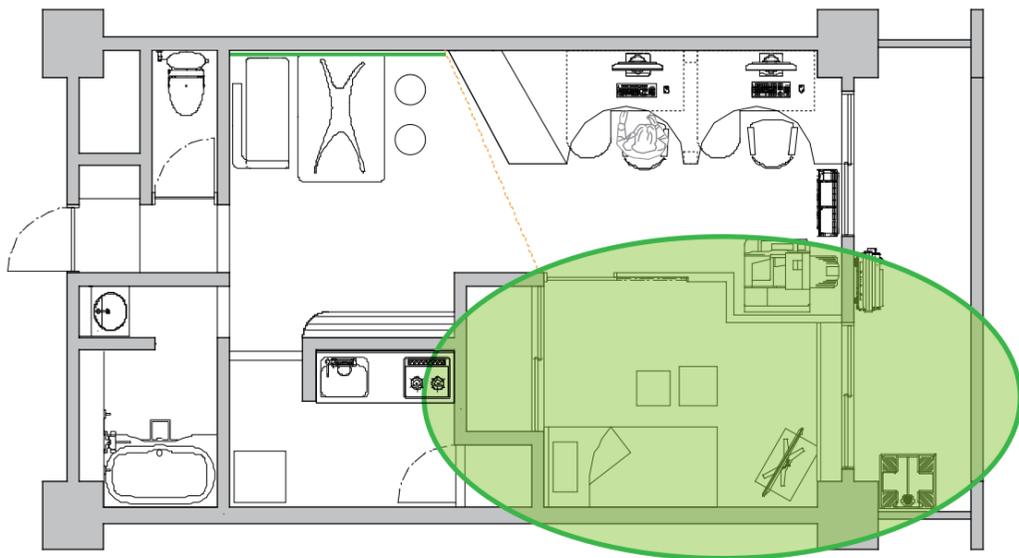
鏡面にすることで生活感を遮断。

目盛が刻んであるのは、
お客さまに家具のサイズ感など説明する際に使用。



室内窓際にも衣類を掛けるスペースを設置。
天気はもちろん。お客さまが来社された際の配慮として。

洗濯機はベランダに設置。
(防雨の為、また見え掛りの点での箱囲い)

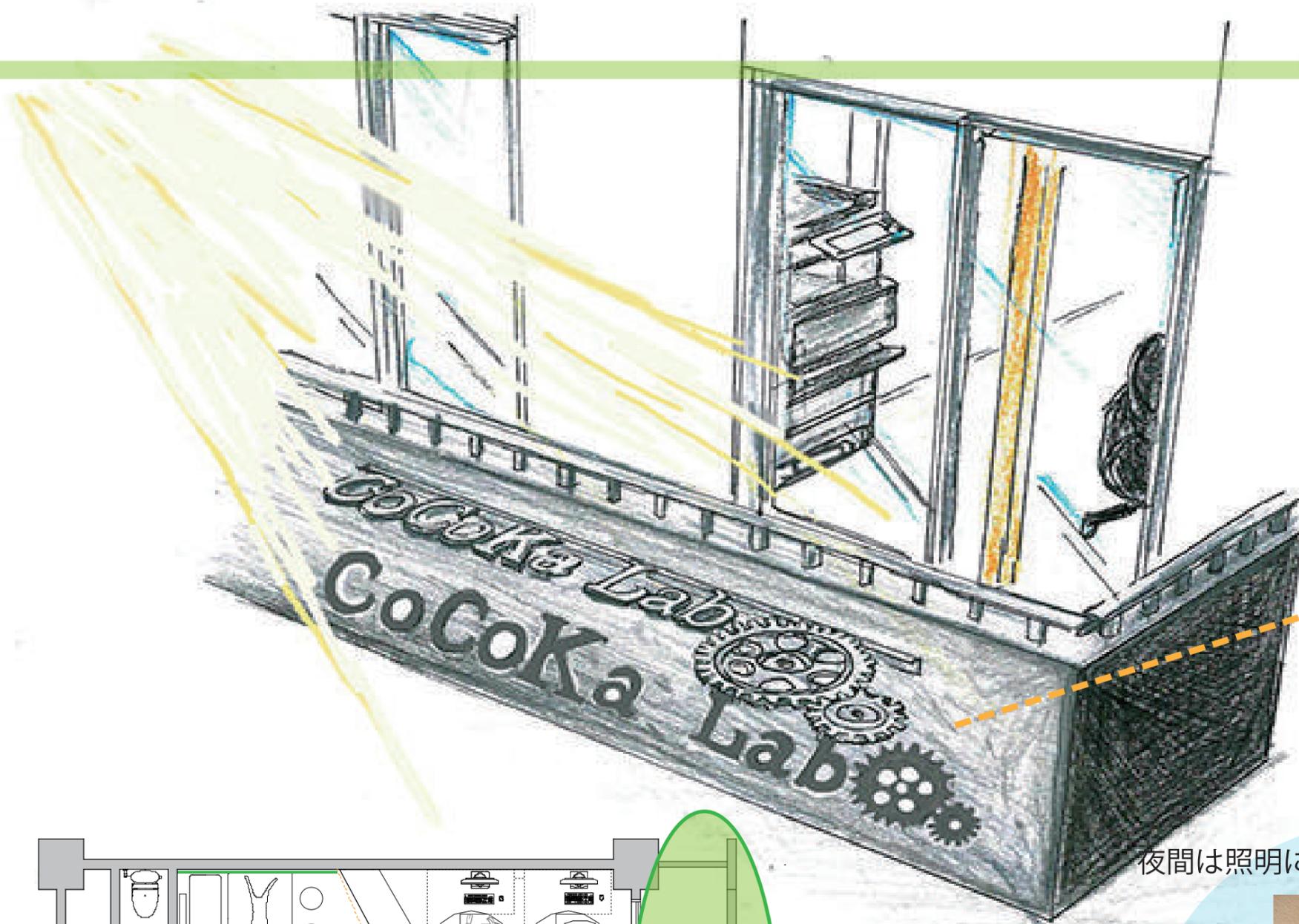


脱靴場はPBスペースに設置。
PBスペースとworkスペースでの
気持ちの切り替え行動として。

PBスペース



Plan < Balcony >



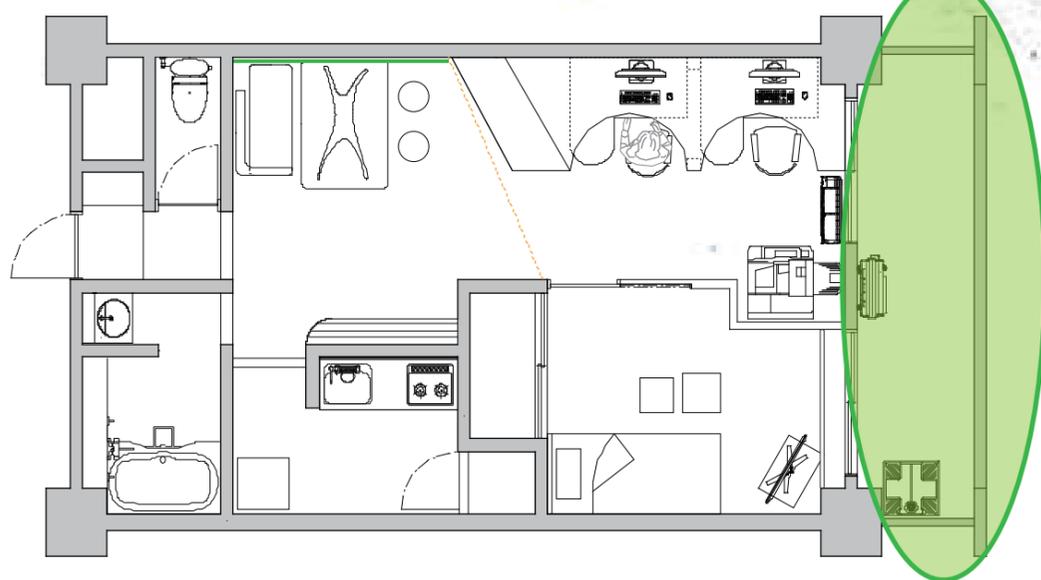
自然光によるサイン
(SUS看板をベランダ外壁面に取り付け)



夜間は照明による演出も検討。



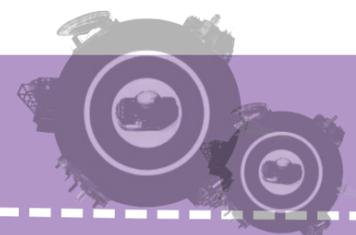
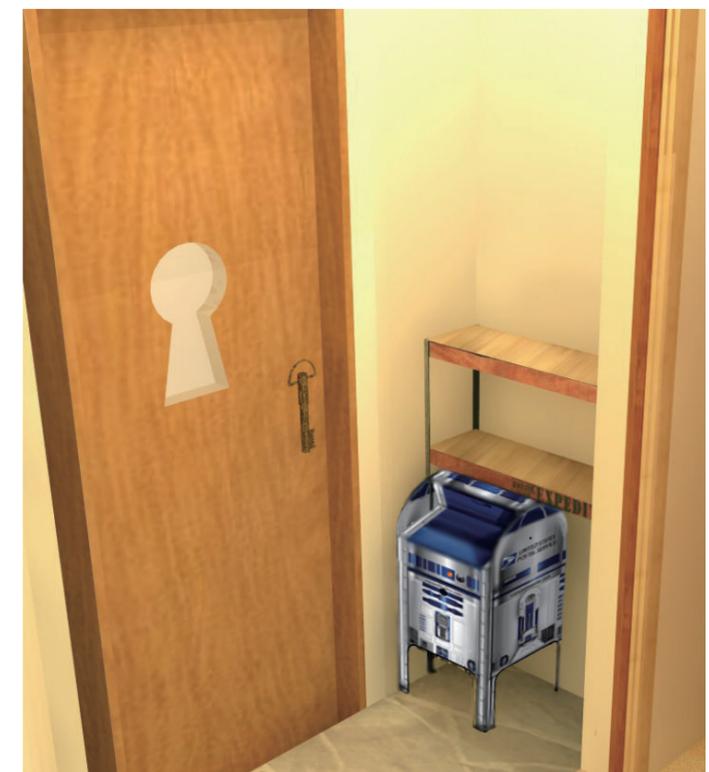
5Fに位置する立地から、外壁にサインを取付け。
日の当たり具合に形を変えていく看板。



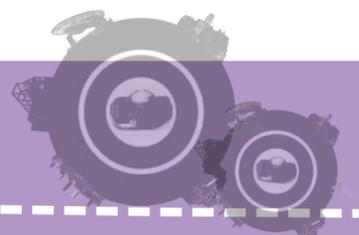
ベランダ



正しい覗き方の図。



Scene . 2

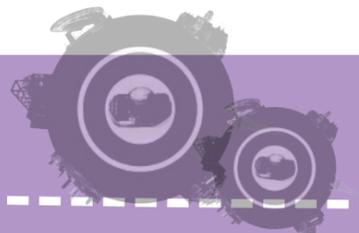


Scene . 3



用紙補充。

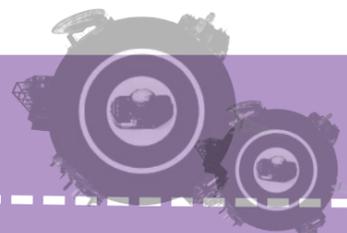
商談中。







無事、帰宅。



Thank you for your attention.

